

Oh!Me



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.342・11月11日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

素敵な人



木工職人
なかがわ しゅうじ
中川周士さん
(大津市在住・42歳)

「木おけ」も「おひつ」作りにも魅せられて

一時はほとんど姿を消していた木おけやおひつが、エコやスローライフブームの影響で、改めて注目されている。繊細で正確な仕上がりの木おけやおひつから現代的なデザインのワインクーラーまで、中川さんの木工世界は幅広い。

最初は鉄だった

最初は「木」ではなく「鉄」だった。父は人間国宝(重要無形文化財保持者)の木工職人で、祖父も木おけづくりに携わった木工一家に生まれた。小さいときからかなくずをおもちゃの一つに育ち、切ったり張ったりする物作りが大好きだった。しかし、木工職人になるのが当たり前の家に生まれ、敷かれたレールにそのまま乗るのが嫌で、高校を卒業すると美大へ進み、鉄のアートを作り始めた。

大学を卒業すると、平日は父の工房に勤めたものの、週末は鉄のアート作りに没頭した。ところが、次第に生き物である木が持つ温かな風合いや、0.1ミリの精度が要求される技への挑戦、長期間の乾燥が必要のため「時間がはぐくむ芸術」とも言える木工の世界に魅力を感じるようになった。



使うかなは300丁

7年前に比良山の麓に工房を構えて独立した。大学時代、山岳部でよく合宿していた懐かしい場所。自然が豊かで丸太を乾燥させる十分な場所もある。木工、陶芸、ガラスなどの作家が100人ほど住んでいて、互いに交流して切磋琢磨できるのも楽しい。檜のいい香りがする工房にかなをかける音が響き、ぐいのみやおひつなどさまざまな木工製品が生み出されていく。丸太を2~5年乾燥させ、割鎌で小割りしてからさらに半年間乾かす。削って組み合わせるという調整を繰り返す。木おけやおひつは20枚ほどの板を組み合わせて作るため、1枚が0.1ミリの狂いと、全体に2ミリの狂いが出てしまう。かなによる微調整が一番難しく、木の大きさや形によって300丁を使い分ける。すべて手作業のため1日1、2個しか作れない大変な作業だけに、完成が近くとわくわくしてくる。



「物作りには天井がなく、できるようになるとまた次の目標ができて——ということが、永遠に続く気がします」

木工製品は乾燥すると縮むため、日本と違って湿度の低い海外でも通用する物作りにも挑戦したいと考えている。

(取材・鎌山) 詳しくは www.gaido.jp/3421

中川木工芸 比良工房(中川周士)
●大津市大物731-1(ギャラリー草庭)
●TEL:077-592-2400
<http://www.grass-garden.com>

滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みは **0120-468-012**

心尽くした手造りの旬の味でおもてなし

日本料理・仕出し

魚清

UOSEI

大・小様々なお部屋で2名様から80名様までご予約承ります。

営業時間 AM11:00~PM10:00
彦根市須越町196-2 TEL (0749) **25-0196**
FAX (0749) **25-0462**

無料送迎バスをご利用ください。〈ご予約制〉

アイムの家 Smile Series

「ミキハウス子育て総研」認定

アイムの家「Smile Series」はミキハウス子育て総研の「子育てに優しい住まい」注文住宅部門の認定を受けました!

ママ友に自慢できるお家

彦根市に**モデルハウスがオープン!**

0120-05-1317
(株)チャンスハウジングシステム

〒528-0035 甲賀市水口町名坂914番地の1 TEL.0748-63-1317
FAX.0748-63-6537

アイムの家 滋賀 検索

[E-mail] info@chance-housing.jp [URL] <http://www.ch-housing.com>